



第3回ヒューマンサービス学会学術集会に参加しました！

令和7年11月30日、「第3回ヒューマンサービス学会学術集会」が神奈川県立保健福祉大学にて開催され、PrincipiaⅡ 県立保健福祉大学所属のグループ1チームが参加し、ポスター発表を行いました。その後、12月8日にはFMブルー湘南ラジオにて研究内容をお話しました。ポスターはC棟2階の相談室前に掲示しています。ぜひご覧ください。以下は探究タイトル、発表メンバーです。

【探究タイトル】

「精神疾患と精神障がい者の実情を啓発するすごろくを作る
～精神障がいの認識・接し方調査、インタビューを踏まえて～」

【発表メンバー】

2年1組 荒木 美由紀さん、2年6組 菊地原 和花さん
2年6組 湯川 いちかさん、2年7組 上村 遼介さん
2年7組 工藤 綾太さん



Q: 発表に向けて準備したこと

A: 今収集しているアンケート結果を踏まえて、昨年度のアンケート、インタビューを見直して、より根拠に基づいた考察を載せられるよう心掛けました。また、昨年度のポスターセッションでいただいた質問や、指摘を補足して、情報の不足や誤解を与えないようなポスターにしました。準備期間の短い中での発表でしたが、想定される質問も対策し、万全な状態で発表に挑むことができました。

2年7組 工藤 綾太

Q: 会場の様子

A: まず会場に入った際、各高校の生徒や大学の教員が集まっておりとても緊張しました。他校の生徒は発表について話し合い、本番に向けての練習を行っておりとても真剣な雰囲気がありました。実際に発表をしている際、想像よりも多くの人達が僕達の発表を見てくださり、このような経験は今後の将来において大事なものになりました。僕にとってヒューマンサービス学会はとても貴重な経験になりました。

2年7組 上村 遼介

Q: 他校の発表を聞いて感じたこと

A: 他校の発表では、障がい者の親を支援するアプリを制作した研究が特に印象に残っています。さまざまな人の声を丁寧に集め、利用者の気持ちに寄り添おうとする様子が伝わってきたからです。私たちも精神障がいを啓発するすごろくを製作していますが、「当事者への配慮を忘れず、誰にどんな気持ちで使ってほしいか」を意識することの大切さを改めて実感しました。今回の学びを、今後の活動にも生かしていきたいと思います。

2年6組 湯川 いちか

Q: 発表した感想

A: 短い準備期間の中でそれぞれ一生懸命に台本を覚えたことで緊張していても堂々と発表することができました。全員通しでの発表練習をあまりできなかったのが時間通りにできるか不安でしたがうまくいってよかったです。質問にも良い回答ができ、他のグループの発表はどれも勉強になるものばかりで良い経験ができました。

2年6組 菊地原 和花



Q: 後輩へ一言

A: 今まで体験した発表会とは違い、発表の相手のほとんどが大人の人だったのでとても緊張しました。質疑応答もレベルの高い質問が行き交っていたので、メンバーの緊張感も高かったです。ですが、事前にアンケートの見直しやメンバーとの打合せなどの準備を行っていたおかげで、よい発表ができたと思います。事前にしっかり準備をして、自信を持って発表すれば、どんな場面でも、よい発表ができると思います。

2年1組 荒木 美由紀